

令和4年度 大阪府立生野支援学校 第2回学校運営協議会 議事録

日 時	令和4年11月7日(月) 10:00~12:00	
場 所	大阪府立生野支援学校 図書館	
出席者	委員	多田 龍弘、塩田 武史、閑喜 美史、永井 隆、種永 法子、半田 工
	学 校	国津 賢三(校長)、荒木 千年(教頭)、菊澤 博行(教頭)、森 大介(首席)、 中野 貴啓(首席・中学部主事)、奥谷 美帆(高等部主事)、菱沼 恵理(小学部主事) 三木 良美(支援相談部長)
	傍聴人	田中 美加、乙須 起代美、良川 秀子
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「地域の小・中・高等学校への支援」について 2. 「居住地校交流」について 3. その他(支援学校と地域との関係等) 	
協議内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校長あいさつ 新型コロナウイルスの感染拡大防止に取り組みながらの学校運営をおこなっている。現在は大きな影響はないが今後も引き続き感染防止に努めながら学校生活に取り組んでいく。 2. 『地域の小・中・高等学校への支援』について 地域支援は、地域の教員の支援教育力の向上をめざし、子どもたちがどの環境でも同じ支援教育を受けることができることを目的としており、具体的には、大阪市の南東ブロックを平野支援学校と担当して、個人に対する支援や学級全体に対する支援、教員研修の設定に取り組んでいると報告した。小学校や保護者の立場の委員から意見があり、「地域の学校の支援教育力の向上を目的としていることはいいこと」など、取り組みの目的や活動内容について評価を受けた。また、地域支援の内容を支援学校での取り組みに活かしてほしいという助言も受けた。 3. 『居住地校交流について』 今年度の居住地校交流の取り組み内容について報告した。新型コロナウイルス感染症の影響で一昨年と昨年は控えていたが、今年度から再開し、現在までの活動内容や成果、課題を報告。本取り組みが少しずつ地域の学校に認識されつつある状況も併せて報告した。委員からは、学校や学年単位の交流会との違いについて質問があった。「実施にあたり様々な配慮があるが引き続き取り組んでほしい」という意見をいただいた。また、参加する児童・生徒個人の目的を明確にすることの重要性について助言を受けた。 4. 『校内見学』『支援学校と地域との関係』について 校内見学については、児童・生徒の活動の様子を見学することができて、元気をもらえたという感想をいただいた。今回の『地域の小・中・高等学校への支援』や『居住地校交流』といった学校間での連携以外にも、『支援学校と地域との関係』についても意見交換があった。地域住民や関係機関などとの連携についても今後より重視していく必要があるという意見をいただいた。また、これまでの「支援される側と支援する側」の関係性から、地域の中にある学校として「地域協働」を意識して連携をとっていくことの重要性を助言いただき、引き続き取り組んでほしいという意見をいただいた。 	
協議資料	1. 居住地校交流の取り組みについて	
備 考	校内見学	